

# 気まぐれ通信

令和2年10月9日 第124号

発行者 有限会社津口ファーム

## 本の紹介

マキノ出版から「1日3個で免疫力がアップする！卵レシピ」という本を発刊しました。



「卵、それは、安い、おいしい、調理が簡単さらには健康になれるスーパー食材」として免疫力アップや、様々な疾病対策にも良い卵の特徴や、卵を食べて健康を維持している人の実践例を掲載しています。「老後の老化防止飯」や食後高血糖や低栄養などを防ぐ卵かけご飯など掲載されています。 税込880円

## 花の駅せら



花の駅せらでは、サルビアで感謝の文字を描いているのが見頃です、10月下旬まで楽しめます。

## 日本は338個で世界第2位

国際鶏卵委員会（IEC）は、各国のレポーターが報告した2019年の年間1人当たりの鶏卵消費量（殻付き換算、家庭、業務、外食を含む）を公表しました。

1位から3位までは昨年と変化なく1位は、メキシコの372個（前年比4個増）、2位が日本の338個（前年比1個増）、3位がロシアの306個、4位はアメリカ合衆国と中国の293個、6位はコロンビアの292個となった。アメリカは、前年比9個増加している。中国は数値が毎年乱高下しており前年より38個増えている。前年の数値の報告があった30か国のうち、消費量が増えた国は21か国、減少した国は7か国、変化なしが2か国。

日本は前年より1個増えて338個は、過去最高記録を更新した。各国の鶏卵関係者により消費拡大が盛んになり、健康面のメリットが消費者により広く認知されるようになってきたと伝えている。

しかし、今年は新型コロナウイルス感染症対策で世界的に業務、外食の需要が数カ月にわたり大きく減退しており、各国とも大幅な下振れとなることが予想される。



ちなみに採卵鶏の飼料価格も公表されていましたが、日本が飛びぬけて一番高くトン当たり67,752円、メキシコは40,515円、ロシアは26,967円、米国は24,013円、中国は36,990円となっている。日本の次に高いのはスイスで60,675円、世界の平均は、35,000円位。